

ひと ひと
女と男の情報誌

笑がお



CONTENTS

- ★ イキイキ笑顔人 P 2
吉川学校に行かない子を持つ親の会主宰 みやたさちこ 宮田幸子さん
「不登校は宝物！」
- ★ 男女共同参画市民企画事業決まる P 3
- ★ 笑がおコラム「ベトナムの女性」 P 4
- ★ 男女共同参画巡回パネル展のお知らせ P 4



みんなが笑顔でいられるために……

みんなが笑顔になる街づくり・地域づくりを

一緒に考えていきませんか？

イキイキ笑顔人

自分らしく
輝いている人見つけた！



みやた さちこ

ファイルNo.23 宮田 幸子さん 54歳

東京都内で生まれ、小学校3年から千葉県野田市へ。幼い頃から絵を描くのが好きで、高校卒業後アニメーション学科に学ぶ。25歳でレディス・コミック誌に漫画家デビュー。結婚出産を経て、休筆。夫、長男、次男の4人家族。吉川市在住。

一人で悩まないために

“吉川学校に行かない子を持つ親の会”を始め、8年ほどになります。一緒に立ち上げた3人の仲間と協力して、「市民交流センターおあしす」で、親たちが自由に集まれる会を月1回程度開いています。カウンセラーとか専門職の方が加わるわけではなく、同じ悩みを持つ親たち同士で、それぞれの悩みや体験を話し合う自助グループです。もちろん聞くだけでもOK。親としての不安や子どもの様子、家族のことなどを話すうちに、「悩んでいるのは自分一人じゃない」と分かったり、「一緒に考えてくれる人がいる」という安心感を感じてもらえたらと思っています。

人とつながれる場って、すごく大事なんです。子どもが突然に不登校になって、親としてどうしたらいいのか分からなくなり、子育ての自信を無くし、世間から抜け落ちてしまったような孤独感にさいなまれる人がたくさんいます。私もそうでした。もし、あのまま一人でいたらウツになってしまったかもしれません。

不登校は“宝物”です。 子どもを信じて、 任せて、待ちましょう！

自分らしく輝いている人の笑顔っていいな…。

“吉川学校に行かない子を持つ親の会”を主宰する宮田幸子さんの笑顔は柔らかい。

不登校の我が子と向き合った体験をもとにした漫画作品や講演で、同じ悩みを持つ親たちを励まし続けている宮田さんに、イキイキ「笑顔」のわけを語ってもらいました。

お母さんの元気と笑顔が一番

次男が不登校になったのは中1の夏休み明けでした。朝になると、「頭が痛い」とか体調が悪いと訴えて学校を休む。そのくせ昼は楽しそうにゲームやテレビに向かい、夜には「明日は学校に行く」と言ったりする。全く予想もしていなかった事態でした。私はベッドで毛布をすっぽり被った息子を力づくで学校に行かせようと必死になったこともありました。そのうち突然「死にたい」と口にした息子が窓から飛び出そうとした一件から、学校はしばらく休ませることにしました。

このまま一生ひきこもりになってしまったら…。近所の人たちからどんな目で見られているのだろう…。悩みの渦の中にいた私がたどり着いた先は、柏市にある「不登校の親の会」でした。涙と一緒に噴きだした私の悩みを受け止めてくれた“先輩”からは、「結局は、本人を信じて、任せて、待つことですね」、「回り道のようにけど、お母さんの元気と笑顔が一番」というアドバイス

を受けました。言われた当初は腑に落ちなかったものの、息子と向かい合ううちに「なるほど」と納得し、とても励まされる言葉になりました。

体験を漫画作品にして

その後、次男は中3からフリースクールに通い、高校を経て社会人になっています。私は、息子との道のりを他のケースも取材して漫画「いつでもあなたを愛してる」に描きました。子育てで辞めていた漫画家としての活動意欲が再燃したので、そして、不登校をテーマにした連載コラムの執筆をしたところ、九州や四国など各地から依頼をいただき、講演する機会にも恵まれています。

私自身もとらわれていた「不登校は悪い」という社会通念はいまだに根強くあります。学校へ行かない間に、どれほど子どもは人生を深く考えているか、私は息子を通して知りました。学校へ行かないことをシグナルとしてとらえて、子どもの心に寄り添えば、その子の良さや考え方を理解する機会を得ることになると思います。親子関係の築き直しもできるのです。まさしく「不登校という宝物」では、ないのでしょうか。

これからの活動としては、“吉川学校に行かない子を持つ親の会”の継続と、漫画の新作に取り組んでみたいと思っています。新作のテーマは「非行」。荒れてしまった子どもの本当の気持ち

とか、親の思いを取材して描けたらと考えています。社会とか、家族とか、非行の根っこには、不登校と同じものがあるような気がしてなりません。



「いつでもあなたを愛してる
学校へ行かないあなたへ」
吉川市立図書館蔵書

吉川学校に行かない子を持つ親の会

日時 11月23日(土)午後1時～4時
場所 おあしすセミナールーム2
費用 100円・問合せ 宮田 ☎983・2930

男女共同参画市民企画事業 2事業決まる

男女共同参画の理解推進を図るため、募集した2013年度市民企画事業が、男女共同参画審議会の審査を経て決まりました。

よしかわNPO連絡会 主催

『男女共同参画の視点から考える』

サロン風まちづくり講座

9月から1月までの5回、これまで親しんできた文化や日常生活、そして自分自身を男女共同参画の視点から、みつめなおす講座です。参加費無料、申し込み不要、お気軽にご参加ください。

- 第1回 9月21日(土) 中央公民館三〇一
- 第2回 10月19日(土) 美南公民館洋会議室2

※埼玉県男女共同参画推進センターから
瀬山紀子さんを招き、災害・防災について
ご講演をいただきます。

- 第3回 11月30日(土) おあしすセミナールーム1・2
- 第4回 12月21日(土) おあしすセミナールーム3
- 第5回 2014年1月11日(土) おあしすミーティングルーム4
(時間はいずれも午前10時から12時)

笑がおの会 編集・発行

『男女共同参画情報誌 “笑がお”』

2014年春号全世帯配布

吉川市で輝いている人を毎号紹介している「笑がお」を全世帯にお届けします。2014年3月1日発行。

問合せ 吉川市 市民参加推進課

〒342-8501 吉川市吉川二丁目1番地1
電話 048-982-9685 FAX 048-981-5392

✉ shiminsanka2@city.yoshikawa.saitama.jp

ベトナムの女性

私の兄をお父さんのように慕うベトナムの女性が、1歳の男の子を連れて我が家に遊びに来た。お互いに自分の国の言葉ではなく英語を介しての会話なので、いろいろと話が見えないことも多かったが、彼女の話聞いていて、ベトナムの女性は強いと感じた。

初めての外国に日本を選び、夫とともに来日。夫は仕事があるので数日で帰り、彼女はインターネットで調べてきた日本の情報を駆使して自分の行きたいところ、見たいところへ出かけていく。

子連れで道がわからなくなると交番に飛び込むらしいが、英語が通じないと判断すると、自分の勘と地図をもとに目的地にたどり着くようだ。

憧れの銀座に行き、ブランドショップのウインドウをみて、将来自分でグッチのバックを買い、ティファニーの宝石を買うという。実の父親を幼くしてなくし、母親と二人で生きてきた彼女は、自分の生活を夫に託してはいない。ベトナムでは女性も働くのは当たり前という。今は子供のために家にいるらしいが、来年から仕事に戻るといふ。

彼女の笑顔には、自分への信頼と期待が満ちていた。

ふとベトナムの旅行に行ったとき、ガイドが放った一言を思い出した。

「世界最強のアメリカに唯一勝ったのはベトナムです。ベトナムによろこそ！」

そう彼らはゲリラ戦でアメリカ兵士の戦意を砕いた歴史をもっている。彼女の中にも前向きな精神が満ちているように感じた。

R・M

『 災害と男女共同参画 』

～男女共同参画巡回パネル展～

被災から復興のスタートまでに私たちが抱える男女共同参画の課題とこれからの目指す社会をパネルにしました。

10月26日(土) 【おあしす祭り】おあしす展示ギャラリー

11月2日(土)3日(日) 【市民文化祭】中央公民館

11月17日(日) 【市民まつり】おあしす2階男女共同参画コーナー



募集しています!!

❖この情報紙「笑がお」作成に参加して頂ける方を募集しています。

❖この情報紙「笑がお」に掲載する「笑顔」の写真も募集中です。

いずれも、下記あてにお気軽にお問い合わせください。

発行 笑がおの会 (川崎容子・間宮玲子・丸山薦恵)・吉川市

※「笑がおの会」は、吉川市男女共同参画推進市民会議OBの活動から生まれました。

問合せ 吉川市 市民参加推進課 男女共同参画・文化交流担当

〒342-8501 埼玉県吉川市吉川 2-1-1

☎048(982)9685 FAX048(981)5392 ✉shiminsanka2@city.yoshikawa.saitama.jp



※題字については、檜垣民子さんのご協力をいただきました。